

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時：2022年10月12日(水) 10:00～12:00

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（敬称略）

所外：瓜谷 章（名古屋大学）、中村 浩之（東京工業大学）、渡辺 賢一（九州大学）、鈴木 達也（長岡科学技術大学）、三浦 勉（産業技術総合研究所）、納富 昭弘（九州大学）、田中 憲一（京都薬科大学）、大場 洋次郎（日本原子力研究開発機構）、千葉 豪（北海道大学）、

所内：鈴木 実、櫻井 良憲、田中浩基、木野村 淳、高宮幸一、日野正裕、高田 卓志、（事務局）仲谷 麻希

添付資料

資料 1：幹事会議事録（案）20220729

資料 2：開票集計結果（前期選挙）

資料 3：開票集計結果（後期選挙）

資料 4：選挙関連集計

資料 5：規約・申し合わせ変更（案）

議題：

1. 前回幹事会議事録（案）確認
2. 選挙について
 - 2-1. 選挙の開票結果
 - 2-2. 次期運営委員会、共同利用研究委員会委員候補者の推薦
 - 2-3. 次期幹事の選出
3. 系の分類について
4. 規約、申し合わせの訂正について
5. その他

報告：

瓜谷代表幹事の司会で、議事次第に従い以下の通り幹事会が実施された。

議題1：前回幹事会議事録（案）確認について

前回議事録は認められた。

議題2：運営委員会委員候補者および共同利用研究委員会委員候補者の選出について

選挙の得票数を考慮して以下の候補者が認められた。

運営委員会委員候補者（4名）

渡辺賢一	九州大学	物理・工学系
佐藤紘一	鹿児島大学	物理・工学系
中村浩之	東京工業大学	化学系
益谷美都子	長崎大学	生物・医学系

共同利用研究委員会委員候補者（8名）

村田 勲	大阪大学	物理・工学系
北口雅暁	名古屋大学	物理・工学系
納富昭弘	九州大学	物理・工学系
吉橋幸子	名古屋大学	物理・工学系
佐藤渉	金沢大学	化学系
太田朋子	長岡技術科学	化学系
井川和代	岡山大学	生物・医学系
川端信司	大阪医科薬科大学	生物・医学系

議題3：次期幹事候補者の選出について

基本は所外10名、所内10名で必要に応じて人数を増やしており、選挙の得票数と分野及び所属のバランスを考慮して以下の候補者が認められた。運営委員や共同利用研究委員会委員との重複は可能で、再選に関する制約はない旨（ただし代表幹事と総務担当幹事は3期まで）の補足説明があった。また、辞退者が出たら次点の方が繰り上がることとした。

所外

吉橋 幸子	名古屋大学	准教授	物理・工学
井川 和代	岡山大学	准教授	生物・医学
太田 朋子	長岡技術科学	准教授	化学
佐野 忠史	近畿大学	准教授	物理・工学
北口 雅暁	名古屋大学	准教授	物理・工学
渡辺 賢一	九州大学	教授	物理・工学
鈴木 達也	長岡技術科学大学	教授	化学
中村 浩之	東京工業大学	教授	化学
納富 昭弘	九州大学	准教授	物理・工学
宮武 伸一	大阪医科薬科大学	特務教授	生物・医学
三浦 勉	産業技術総合研究所	上級主任研究員	化学
川端 信司	大阪医科薬科大学	准教授	生物・医学
大場 洋次郎	日本原子力研究開発機構	研究副主幹	物理・工学

所内

櫻井 良憲	粒子線医学物理学	准教授	物理・工学
田中 浩基	粒子線医学物理学	教授	物理・工学
鈴木 実	粒子線腫瘍学	教授	生物・医学
高宮 幸一	同位体利用化学	准教授	化学
近藤 夏子	粒子線腫瘍学	助教	生物・医学

日野 正裕	中性子応用光学	教授	物理・工学
山村 朝雄	アクチノイド物性化学	教授	化学
関本 俊	同位体利用化学	助教	化学
木野村 淳	照射材料工学	教授	物理・工学
高田 卓志	粒子線医学物理学	助教	物理・工学
堀 順一	研究炉安全管理工学	准教授	物理・工学

議題 3. 系の分類について

原子炉利用者グループ内でどの分野（系）に所属するかを明らかにするため、物理系、化学系、生物系の 3 つに分けて、共同利用の申請時に自己申告してもらう旨、鈴木総務担当幹事より説明があり、認められた。

木野村幹事より共同利用申請書の審査分野との関係に関する質問があり、これに対して、原子炉利用者グループ内の選挙で使う目的のもので、審査分野とは異なる旨の説明があった。

共同利用掛には系に関する説明が行われておらず、今回の申請には反映されていないので、次回の選挙（再来年）の時に間に合うようにする旨、鈴木総務担当幹事から説明があった。

議題 4. 規約、申合わせの訂正について

規約と申し合わせの間で齟齬が生じている点の共通化、これまで運用上実施してきた事の明確化などを整理したことに伴う変更である旨、櫻井幹事より説明があり、認められた。

議題 5. その他

(1) 原子炉利用者グループが管理する予算の残金について

予算の残金の使途について検討中である旨、櫻井幹事より説明があった。使途の候補として、新研究棟の共用スペースに置く物品、夜間移動のための自転車、教育訓練用タブレット端末などが候補として挙げられた。中村幹事からは、所内で実験中に使える PHS の提案があった。これに対し、所内幹事（高宮、櫻井）から、PHS は固定電話に紐付けされるため調整が必要なことなどの説明があった。さらに、設備掛に確認するとともに予算の範囲での PHS の導入や親子電話の利用などを検討する旨回答があった。鈴木総務担当幹事から、時期としては、ある程度の方針を決めて 1 月の幹事会、3 月の総会での承認を目指す旨と説明があった。

(2) 次回幹事会について

事務局から次回幹事会について説明があった。例年 1 月に新旧合同幹事会が開催される。新幹事が決まってから、主要幹事の都合を勘案して日程を決定する。これまでは将来短期研究会（今年は 2/1, 2, 6, 8, 9 が候補日）のお昼休みの時間に幹事会が実施されていた。オンライン開催が可能になったので、必ずしも将来短期研究会の日に実施する必要はない。短期研究会の日程は KUR の運転日と重なることもあり、短期研究会にこだわらない旨、鈴木総務担当幹事から意見があった。

(3) 所外幹事からの要望

鈴木（長岡技大）幹事より、ホットラボに置いてある電話番号表が非常に古く役に立たないので、更新して欲しい旨の要望があった。これに対し、所内で検討する旨、鈴木総務担当幹事から回答があった。

以上